

- ・ 中皮腫死亡者の居住地プロットは、それぞれの者の昭和30～40年代の20年間の全ての居住地をプロットしているので、同一人物でも複数か所プロットされる場合がある。人数とプロット数の関係は表1のとおり。
- ・ また、表2に掲げた者はプロットしていない。

表1 曝露経路別中皮腫死亡者数とプロット数の関係

	(人)	プロット数
・労働性曝露(赤)	16	31
・家庭性曝露(オレンジ)	1	2
・幼児期の曝露(緑)	1	1
・その他(青)	23	40
・戸籍附表から居住地を把握できた者(黄)	11	11
合計	52	85

表2 プロットしていない

	(人)
・労災対象者	2
・聞き取り調査を実施したが、詳細な住所が把握できない者	1
・戸籍附表調査でも住所が把握できなかった者	9
・県外、市外の者	1
合計	13

